

留学のとびら 2020 年度 活動報告書

文責：深見勇馬、佐々木あみ、小島未莉、ウェストビィ三紗

留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生(以下名大生)の留学支援を目的とし、実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者によって運営されている名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。多様な留学経験を持つメンバー同士、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、時には海外留学室と協力しながら実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

留学のとびらの理念

1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出

名古屋大学ではこれまで以上に多数の学生を留学に輩出することを目標としている。本団体では留学を希望する名大生に情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになるような場を創造することで、将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。

2. 交換留学コミュニティの形成

他大学と比較すると、本学の交換留学経験者の繋がりは薄い。それを改善するため、留学が決まった学生から帰国した学生までを対象に懇親会や交流会、また SNS を活用したネットワークを運営している。

3. メンバーの個性とリーダーシップの発揮

メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

設立の経緯

2009 年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」は、2019 年で設立 11 年目を迎えた。(2010 年より主要メンバーが卒業・進学等で団体運営が困難になったため海外留学室が主体となり、2010 年 12 月に新たにメンバーを募集して再設立)。2018 年度も同状況により運営を停止していたが、留学中の学生が中心となり 2019 年 4 月に再始動した。このように、留学を終えたメンバーが中心となって構成されるため、在籍できる期間も短く流動的であるため、継続した活動を維持するためのシステム構築が課題と感じている。

メンバーについて

現在は帰国したメンバー 9 名、2021年度派遣予定のメンバー 3 名の計12名で活動している。

教育学部人間発達科学科 4年 野場 彩乃 (アメリカ・ミネソタ大学)

文学部言語学専攻 4年 増田 浩子 (シンガポール・南洋理工大学)

文学部言語学専攻 4年 若杉 美穂 (イギリス・ウォリック大学)

工学部マテリアル工学科 4年 深見 勇馬 (アメリカ・フロリダ大学)

法学部法律政治学科 3年 佐々木あみ (スウェーデン・ウプサラ大学)

文学部人文学科 4年 岡田ももか (オーストラリア・オーストラリア国立大学)

文学部人文学科 2年 ウェストビィ三紗 (アメリカ・ニューヨーク大学)

工学部マテリアル工学科 2年 野村優登 (フィリピン留学予定)

経済学部経済学科 3年 小島未莉 (ドイツ・ミュンヘン工科大学交換留学内定)

情報学部人間・社会情報学科 2年 笹本 宗歩 (アメリカ・ケンタッキー大学交換留学内定)

文学部人文学科 4年 戸倉菜津子 (デンマーク・コペンハーゲン大学)

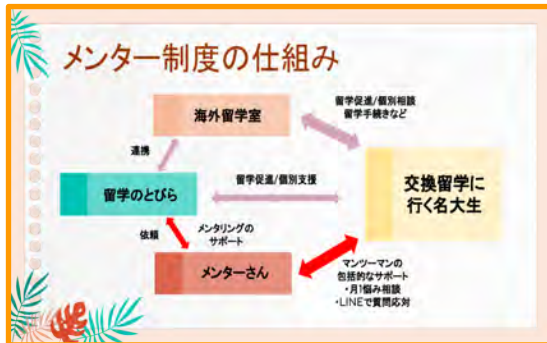
工学部マテリアル工学科 3年 天田裕文 (アメリカ・ノースカロライナ大学)

2020 年度活動状況

2020 年4月-	公式LINEアカウントでの質問・相談対応 (随時)
6月-	オンライン英会話イベント「留とびEnglish Cafe」開始 留学体験談発表イベント開始
7月-	合同説明会参加
8月-	名古屋大学交換留学を志望する学生に向けた、 交換留学応募書類の添削および二次審査面接対策 Instagramアカウントにて大学紹介・留学エピソードの投稿を開始 IELTS講座内 留学計画ワークショップ
11月-	海外留学奨学金を受給した学生による奨学金説明会の開催
12月-	留学に内定した学生向けのメンター制度をリリース
2021年1月-	合同説明会参加
2, 3月	IELTS講座内 留学計画ワークショップ

活動内容詳細

メンター制度



〈目的〉

- ✓ 留学前準備、留学中、留学後までの包括的なサポート
- ✓ コロナ禍の留学で予想されるこれまで以上の不安と困難に対応

〈内容〉

交換留学に行く学生へのサポートをより充実させるべく、2020年度より留学のとびらメンター制度を新設した。

コロナ禍での留学はこれまで以上に不安と困難が予想される。コロナ禍でも果敢に留学に挑戦しようと準備をしている学生にこれまで以上のサポートを提供する。

留学のとびらが海外留学室と連携して、これから全学間交換留学に行く学生にメンター(名大生交換留学経験者)をアサインし、メンターが個別メンタリングを実施する仕組みで、留学のとびらは応募プロセスから、マッチングサポート、初顔合わせミーティング、メンター・メンティーペアのサポートを行っている。

〈効果〉

現在のところ、2021年秋の渡航予定者からメンター制度利用希望を募り、メンターとのマッチングを海外留学室と連携して調整中。

1/7時点で、渡航内定者約20名のうち、12名がすでに応募しており、渡航予定者からたくさんのニーズを獲得している。

交換留学選考対策

〈目的〉

- ✓ 名大生の交換留学出願の促進
- ✓ 留学計画の現実化

〈内容〉

留学のとびらでは交換留学選考の対策として、留学相談会、志望理由書の添削、模擬面接を行っている。昨年度秋募集の際の実績は、10名相談会参加、4名の志望理由書添削、2名の模擬面接実施。彼らの留学計画をより良くするサポートを行った。

2020年度より、従来の模擬面接制度を一新し、オンライン模擬面接 (Zoom) の予約制を導入した。この方法はパンデミック最中でも安全なだけでなく、模擬面接希望者が留学のとびらメンバーの誰に、いつ、依頼したいか選ぶことが簡易になった。

さらに、志望理由書を添削する人数を増やしたことで、よりの確なアドバイスを与えることができるようになった。



留学奨学金紹介イベント

〈目的〉

- ✓ 留学に興味を持っているが金銭面が課題になっている学生の不安の解消
- ✓ 留学をポジティブに考えられるようになってもらう

〈内容〉

2019年度秋派遣で民間の海外留学奨学金を得た名大生5人が各奨学金の説明・選考の体験談を話すオンラインイベントを開催した。

取り扱ったのは、トビタテ留学JAPAN・TOMODACHI住友商事奨学金・業務スーパードリーム財団・エプソン国際奨学金の4種類。各奨学金の財団の説明、選考方法について、選考を通過する上での工夫、申し込みのファーストステップなどについてお話した。



〈効果〉

参加者は26人と、留学のとびらのオンラインイベントの中ではかなり多い人数を集客できた。参加者はイベントを通して申し込みたい奨学金を定め、さらに登壇者と個人的につながることでできた学生も数人おり、現在各々個人的に相談に乗っている。選考方法や選考の上でのコツまで伝えたため、申し込み方法について具体的にイメージできるようになったという声を聞いている。

English Cafe

〈目的〉

- ✓ 留学に行きたいが英語力に不安を持つ学生のための英語学習
- ✓ 英語学習方法の共有

〈内容〉

アンケートやヒアリングを通して学生から、「留学に興味があるけど英語力が足りない」「英語の勉強方法を教えて欲しい」「英語を話す機会がない」と、英語学習に関する要望が多かったため、今年度から英語を学ぶイベントとしてEnglish Cafeを新設した。

2週間に1回、Zoom上にて英語でディスカッションを実施している。また、留学経験を持つ先輩が英語学習の方法を紹介した。留学に行く日本人学生のほとんどが抱える英語力不足の問題に質(英語学習)と量(英語を話す機会)の両方の観点からアプローチし、留学に行く学生のさらなるサポートをしていく。



〈効果〉

これまで延べ43名の学生が参加し、英語学習を行う際のアドバイスもらった学生からは、「日本にいながらでもこの方法なら英語力がつきそう」「今日から試してみたい」との声が得られた。

コロナ禍で海外から名大への交換留学生在が激減し、キャンパス内での英会話の機会が減っていたことから、多くの学生から「英会話の機会が少なくなり困っていたが、English Cafeを通じて英語を話すことが増えた」「もっと開催してほしい」「English Cafeで知り合った学生と一緒に英会話の練習を始めた」とのフィードバックが得られた。

留学経験談イベント

〈目的〉

- ✓ 留学に興味はあるが悩んでいる学生に留学の楽しさを伝え、留学を積極的に考えてもらう
- ✓ 留学先の国や大学に迷っている学生に、現地でのリアルな大学生活の様子を紹介し、留学先選定のヒントを作る
- ✓ 留学に内定した学生に現地生活の対する心構えや注意事項について紹介し、より充実した準備ができるようにする

〈内容〉

シンガポール、イギリス、オーストラリア、アメリカ、スウェーデン、香港の6か国・7大学での留学経験談オンラインイベントを開催した。留学に行くことを決めた理由から、現地での生活、珍エピソード、留学前に準備しておくことなどの紹介をした。

(開催日：2020年8月17日、8月26日、9月8日、9月19日、11月28日、12月20日)

〈効果〉

今年度これまで計46名の学生が参加。留学を迷っている学生から、申し込みを検討している学生、内定済みの学生など参加者の状況は様々であった。

イベント後のアンケートでは、「留学が楽しそうだと感じ、いろんな国に行った方のお話をもっと聞きたいと思いました」「自分でもっと留学に関する情報収集を行おうと思った」「留学を始め、いろんなことに挑戦していくことの大切さを改めて感じた」などの感想があった。

留学を迷っている学生の背中を押すことや、挑戦することの大切さを伝えられた。



Instagramアカウント運用

<目的>

- ✓ 留学に興味はあるが悩んでいる学生に留学の楽しさを伝え、留学を積極的に考えてもらう
- ✓ 留学先の国や大学に迷っている学生に、現地でのリアルな大学生活の様子を紹介し、留学先選定のヒントを作る
- ✓ 留学に内定した学生が、現地での生活をリアルにイメージできるようにする



<内容>

1週間に1、2回、メンバーが留学先の大学のオススメポイントや現地での珍エピソードについて写真と共に紹介している。

<効果>

現在フォロワー数は111人。運用を始めて22件の投稿をしてきたが、各投稿80~120人の方に見て頂いている。実際に投稿を見てくれている名大生からは、「現地での生活が身近に感じられて面白い!!」という意見を頂いている。

※公式ラインでの留学相談は昨年度から継続して行っており、利用者は164人まで増加した。

留学計画ワークショップ

<目的>

- ✓ 交換留学応募を検討している学生に、留学先の決め方のヒントを作る
- ✓ 留学先を決めかねている学生に、SNSや各協定校のホームページを利用した留学先（国・大学）の情報の調べ方を共有する
- ✓ どの大学でどのような分野を学べるかイメージができていない学生に、協定校のシラバスの調べ方・見方を知ってもらう

<内容>

2020年8月6日、2021年2月17日、3月3日に実施。留学先の決め方、留学先でできること、大学の情報取得の仕方を留学経験者がそれぞれ紹介し、20分程度の個別相談の時間を設けた。また、ワークショップ後に参加者が記入できる留学計画ワークショップワークシートを配布した。

<効果>

合計17名の学生が参加。事後アンケートには、「シラバスの調べ方がとても参考になりました!」、「期待以上でした」などポジティブなフィードバックが多く寄せられた。また、「もう少し個別相談ができるじかんがあるとよかったです!」、「IELTS対策講座に付随のWSだと思っているので、IELTSの得点が講座and/or独自の対策でどれくらい上がって留学できたという情報があるとよいなと思いました。」などの希望も見られたため、次回のワークショップに反映できればと思う。



国	地域	必要語学スコア	主要言語	物価/費用	文化	強い学問分野	学べる分野	治安
留学先候補大学								
例: ロリタ人学	アメリカ南西部	IELTS 6.0	英語/スペイン語	やや高い	ヒップホップ系	航空工学	リハビリテーション	
例: ミュンヘン工科大	ドイツ南部	授業履修レベル	ドイツ語	普通		機械	工学部系	
例: 大学								
例: 大学								
例: 大学								

～卒業生からのメッセージ～

● 渡邊智基 情報学研究科複数系科学専攻2年（オーストラリア・アデレード大学）

昨年度を中心に活動に関わらせていただいた渡邊です。

まずは皆さん、今年度はコロナの影響で留学を切り上げたり延期になったりと大変な時期であったにも関わらず、留とびメンバーとして活動してくださりありがとうございます。

留とび活動を通して留学希望者に自身の留学プランの立て方や留学先の選び方、事前準備(+実際の留学経験)などを伝えることは自身の経験を整理して言語化することであり、その経験は皆さんが今後キャリアの歩み方を考えていく上で非常に重要になります。

今後も留とびをよろしくお願いします。

● 若杉美穂 文学部言語学専攻4年（イギリス・ウォリック大学）

私が交換留学の準備をしていた時に、たくさんの先輩に支えてもらったことがとても嬉しくて、心強くて、私自身も何か力になれたらという思いで留とびの活動を始めました。それがいつしか留とびが、帰国後の私自身の学生生活も鮮やかに彩ってくれるようになっていまし

た。留とびメンバーと「これやってみよう!」「あんなことできたらいいな」と皆でワイワイ活動できた時間は宝物です。自分たちのやりたいことをスピーディーにどんどん形にしていけるのは留とびのととても良いところだと思います。留学から帰ってきた皆さんも、留学前の皆さんも、ぜひその溢れるエネルギーを留とびにぶつけてみてください!

●増田浩子 文学部言語学専攻4年(シンガポール・南洋理工大学)

留学したい学生のお手伝いがしたい、留学を迷う学生の背中を押したいという想いで、先輩方から留学のとびらを受け継ぎました。私が主に活動していた2019年度は例年通り、留学を目指す多くの学生と関わることができましたが、2020年度は新型コロナウイルスにより、なかなか活動しづらい状況が続いています。それにも関わらず、現メンバーの皆様が精力的に情報発信やイベントを行なっているのを見て、前代表として非常に心強く感じています。これからもイレギュラーな事態は続くと思いますが、今留学を目指す学生たちや、これから名古屋大学に入学してくる学生により多くの選択肢を与えられるよう、活動を続けていって欲しいと願っています。

●野場 彩乃 教育学部人間発達科学科4年(アメリカ・ミネソタ大学)

留学のとびらの活動を通して、私は夢をもつ学生にたくさん出会うことができました。留学経験者やこれから留学したいと考えている学生はいい意味で変わっていて、話すときすごく刺激になって自分もいつもパワーをもらっていました。留とびのメンバーとして活動している後輩のみなさんには、そんな学生たちと楽しく自分たちがしたいと思える活動を続けていってもらえればと思います。

来年度へ向けて

来年度は今年度と同様、留学を志す学生の支援を充実させると共に、留学決定後・派遣前の学生支援や留学コミュニティの形成に力をいれていきたい。具体的には、交換留学が決定した学生と名古屋大学に現在留学中のNUPACE生とを繋ぐイベントを6月に実施予定である。また、留学仲間の繋がり続けるべく、オリンピックのライブビューイングや英語を使ったイベントと一緒にいく機会を設けるなど、今年度にもましてさらに精力的に活動していきたい。